

## 熊本大学海外派遣留学生 報告書

<b>氏名</b>	K さん		
<b>所属</b>	教育 学部・大学院 地域共生社会 学科・専攻		
<b>留学先機関名</b>	南台科技大学 (国名：台湾)		
<b>留学先所属</b>	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 ( 学部・研究科) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input checked="" type="checkbox"/> その他：大学付属の語学センターに所属		
<b>留学期間</b>	2018 年 9 月 - 2019 年 6 月	留学開始時 学年	3 年次
<b>奨学金</b>	<input type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input checked="" type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 9 期】 <input type="checkbox"/> その他 ( )		



## 2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	バンラエア	手配	バンラエアの公式サイト ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→福岡空港→桃園空港 →高鉄桃園駅→高鉄嘉義駅 →南台科技大学	到着 時刻	15:00 【※移動時間(約 8 時間)】
大学(寮)への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(新幹線)		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	台北にある桃園空港から台南の大学までは距離があるため新幹線で台南まで行った方がよい。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他(                    )	住居 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他(                    )
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他( 四人部屋 )	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他(台湾人の本科学生)
住居の申込手順	留学前に入寮の申請書を留学先大学に提出		
住居でのトラブル および解決方法	ルームメイトにより繰り返しお金が盗まれていた。監視カメラを設置して証拠を撮り警察に通報。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	大学の敷地内に寮があるため徒歩		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 約 50000 円/月 (生活費内訳) 住居費: 12000 円/光熱費: 0 円/通学費: 0 円 食費: 30000 円/通信費: 1500 円/書籍代: 円 その他: ( 15000 ) 円  ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの: 円 (徴収された費用の名目: )		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話は現地の携帯会社で契約し、元々持っていた iPhone に SIM カードを入れ替えて使用していた。契約には台湾人の保証人が必要だったため、チューターが保証人となってくれて契約することができた。 生活費はデビットカードを使って、台湾のコンビニにある ATM で日本の口座から台湾元を引き出していた。		



#### 4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00						友人と遊ぶ、旅行に行く、中国語の検定の勉強、授業の課題に取り組むなど様々	
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食		
13:00	授業	授業	授業	授業	授業		
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食		
19:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
20:00							
21:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
22:00							
23:00							
24:00							

## 5. 留学成果とアドバイス

### 留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

台湾に留学した当初は台湾人が話す中国語がほとんど聞き取れず、自分が言いたいこともあまり伝えられなかったため、授業で習った内容は全て身に付けるつもりで毎日しっかり復習していた。また、日本語を勉強している台湾人の友人達と日頃から積極的に言語交換を行い、習った中国語をアウトプットするよう心掛けていた。結果的に台湾人とも全て中国語で会話できるようになり、帰国前に受けた台湾の中国語検定である TOCFL では準一級程度の級に合格することができた。他の国から来ている留学生とも仲良くなり、異文化に触れる機会も多くあったため、自分の考え方の幅も広がったと思う。最初の頃はあまり中国語が話せない中、外国人という立場で生活するのがきついと思うこともあったが、言葉が話せない分常に笑顔で人と接するように意識していた。自然とコミュニケーション能力が身につく、台湾での10ヶ月の間に留学前は予想できなかったくらい多くの友人ができた。

### 同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

南台科技大学には日本語学科があり、日本語を勉強している学生が多くいるので、その学生たちとお互いに日本語と中国語を教え合うのがよいと思います。語学センターで受ける中国語の授業は少人数なので、授業中にも質問や発言がしやすい環境です。先生が一方的に教える授業ではなく、グループでの話し合いや、1人ずつ発表する機会も多くあるのでしっかり授業を受けていれば話す力も伸びると思います。また、チューター制度があるため、日本人の学生には基本的に日本語が話せる現地の学生がついてくれます。

### 留学を通しての感想

この留学を通して、留学しなければ絶対に出会えなかった多くの人と出会い、たくさんの貴重な経験をすることができた。もちろん楽しいばかりではなく、海外での生活にストレスを感じたり、トラブルに巻き込まれたりもしたが、それを乗り越え10か月間生活できたということはとても自信になった。留学前に考えていたよりも中国語を伸ばすことができたのも、周りが全て中国語という環境で暮らしていたというのが私にとって大きかった。日本と文化の違いを感じることもあったが、逆にそれも楽しめるようになったと思う。留学中は多くの人に助けられたため、人とのつながりの大切さを実感した。